

# メールマジックプロフェッショナル14

## 変更点

### 1.表示されたレコードを書き出す

「データベース」ウインドウの「ツール」メニューにあります。  
この項目を選択すると現在データベースに表示されているレコードをテキストファイル（.txt）またはCSVファイル（.csv）として書き出すことができます。この機能を使って任意のグループのレコード、または「表示」メニューで表示させるレコード（例えばエラーになったレコード）などを簡単にファイルに書き出せます。

#### 使い方

1. データベースウインドウの「ファイル」メニューから「表示されたレコードを書き出す」を選びます。ファイル保存ダイアログが表示されます。
2. プルダウンメニューから書き出す形式き（txtまたはcsv）を選びます。
3. 保存したい場所を選びます。
4. 「保存」ボタンをクリックします。

### 2. bccとccの記録

メールをbccまたはccで送信する場合、この情報はログファイルに記載されます。

### 3.最近使ったファイルを開く

「メイン」ウインドウの「ファイル」メニューにあります。  
この項目を選ぶことで最近使ったメールマジックのファイルがポップアップメニューに表示されます。このメニューから開きたいファイルを簡単に選べます。

### 4.リンクのチェック

「メイン」ウインドウの「ツール」メニューにあります。  
メール本文にあるリンクが有効かどうかを簡単に確認できます。メインウインドウの「ツール」メニューから「リンクのチェック」を選ぶとメールマジックはメール本文にあるリンクを探して、そのリンクが示すインターネットにある項目（ペー

ジ、ファイルなど）が存在しているかどうか確認します。すべてのリンクが有効な場合、「すべてのリンクが有効」のメッセージが表示されます。無効なリンクが見つかったら、そのリンクがリストで表示されます。

「テキスト」タブが選択されているときはテキストメールのみがチェックされます。「HTML」タブが選択されているときはHTMLメールのみがチェックされます。

注意：「http」で始まるテキストがリンクとして認識されます。リンクの「http」の部分に誤りがあった場合（例えばhtvp）誤りは見つかりません。

## 5.メールアドレスのみを保存

「オプション」メニューの「環境設定」の「送信」タブにあります。（「各メーリングリストのログファイルを保存する」の下）

これをチェックすると送信先のメールアドレスのみがログファイルに記載されます。他の情報は保存されません。この機能を使うことで送信済みのメールアドレスは簡単に把握できます。これは「各メーリングリストのログファイルを保存する」の機能で保存されるログファイルのみに有効です。通常のログファイルには影響がありません。

使い方

1. 「各メーリングリストのログファイルを保存する」の「別々のログファイルを保存する」にチェックを付ける。
2. 「保存場所を選択」を選んで保存する場所を指定します。
3. 「メールアドレスのみを保存」にチェックを付ける。

## 6. 「ファイルを使って重複データを削除」機能の改善

この機能のメニュー項目は「データベース」ウインドウの「ツール」メニューに移動されました。前よりスムーズに機能するようになりました。